

米国 貿易戦争本格化前まで堅調さ維持(17年5月耐久財受注)

: 2018年7月2日 (月)

～5月までの関税引き上げは限定的～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

	出荷				耐久財受注				在庫			
	除く輸送機器			非国防資本財 除く航空機	受注			非国防資本財 除く航空機	在庫			非国防資本財 除く航空機
17/05	+1.7	+1.3	(+5.5)	+1.4	▲1.2	+0.9	(+6.4)	+0.7	+0.2	+0.3		+0.3
17/06	▲0.1	+0.2	(+5.3)	▲0.0	+7.1	▲0.2	(+6.3)	▲0.7	+0.4	+0.8		+0.9
17/07	▲0.1	▲0.1	(+4.8)	+0.7	▲7.4	+0.9	(+6.1)	+1.2	+0.6	+0.5		+0.4
17/08	+0.8	+1.3	(+6.2)	+1.4	+2.7	+0.8	(+7.1)	+0.6	+0.4	+0.4		+0.1
17/09	+1.0	+1.0	(+7.2)	+1.1	+4.7	+1.7	(+9.4)	+5.7	+1.1	+0.7		+0.7
17/10	+0.2	+0.8	(+7.8)	+0.9	▲4.1	+0.8	(+9.2)	▲1.9	+0.2	+0.4		+0.2
17/11	+1.5	+0.9	(+8.0)	+0.5	+2.2	▲0.4	(+8.0)	▲3.0	+0.1	+0.3		▲0.1
17/12	+0.3	+0.8	(+7.8)	+0.7	+3.2	+1.6	(+9.7)	+2.8	+0.6	+0.6		+0.7
18/01	+0.3	▲0.1	(+6.8)	▲0.3	▲4.2	▲0.9	(+6.5)	▲1.2	+0.2	+0.3		+0.1
18/02	+0.7	+1.0	(+7.7)	+1.0	+4.5	+1.3	(+7.9)	+1.6	+0.5	+0.5		+0.5
18/03	+0.8	▲0.1	(+6.6)	▲0.7	+2.7	+0.5	(+7.2)	▲1.0	+0.2	+0.5		+0.4
18/04	+0.0	+1.3	(+8.6)	+1.0	▲1.0	+1.9	(+9.0)	+2.3	+0.3	+0.4		+0.2
18/05	▲0.1	+0.2	(+7.4)	▲0.1	▲0.6	▲0.3	(+7.8)	▲0.2	+0.3	+0.2		+0.1

5月の耐久財受注は前月比▲0.6%、除く輸送機器は同▲0.3%とともに減少した

18年5月の耐久財受注は、前月比▲0.6%（前月同▲1.0%）とマイナスが続いたものの、市場予想コンセンサスの同▲1.0%を上回ったうえ、4月分が0.6%p上方修正されており、実態は予想よりもかなり強い結果。また、変動の大きい輸送機器を除いた耐久財受注は、前月比▲0.3%（前月同+1.9%）と市場予想コンセンサスの同+0.5%に反して減少したが、3、4月分が1.1%p上方改定されたことを考慮すれば、予想よりも強い内容。5月までは、米中の輸入品に対する関税賦課の対象額が大きいことから、目立った影響は確認されていない。

業種別では、一次金属、加工金属、コンピューター・電子製品関連、電気機械関連が減少に転じたほか、一般機械、その他耐久財が鈍化した。また、輸送機器が減少幅を縮小した。なお、規模の最も大きい輸送機器では、自動車が増減に転じたものの、軍用航空機が増加ペースを加速し、民間航空機が減少幅を縮小した。

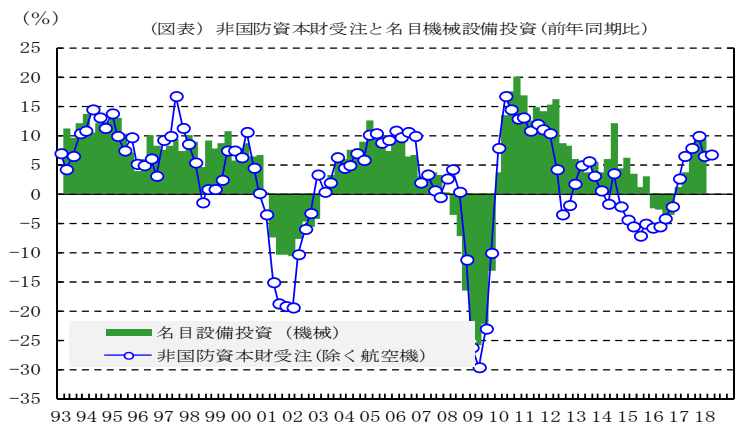
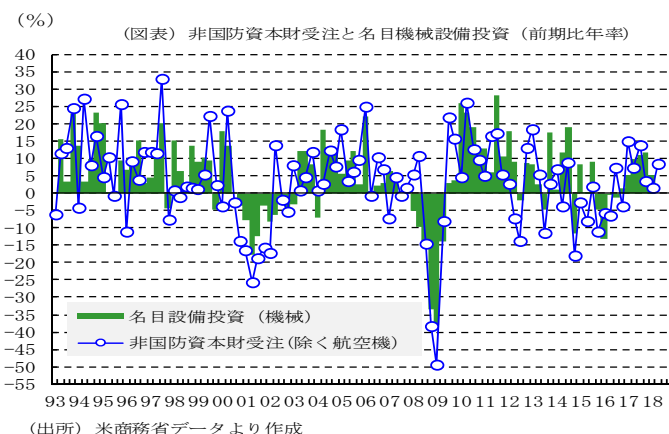
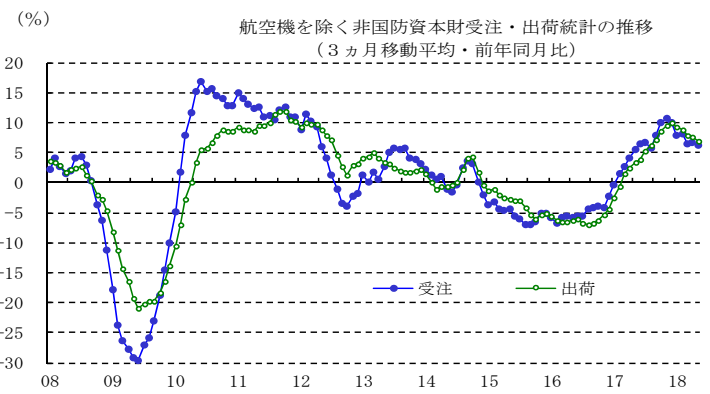
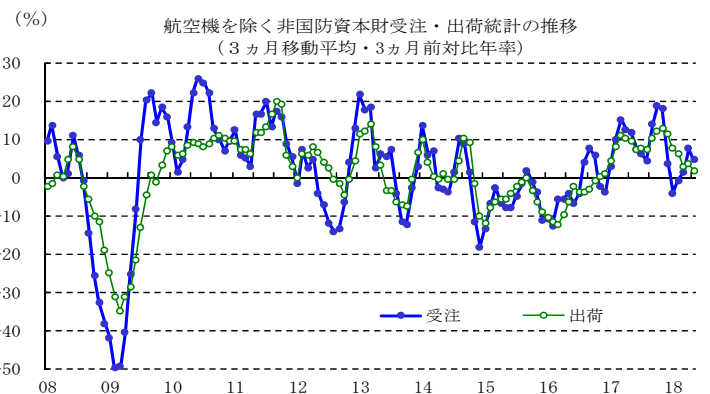
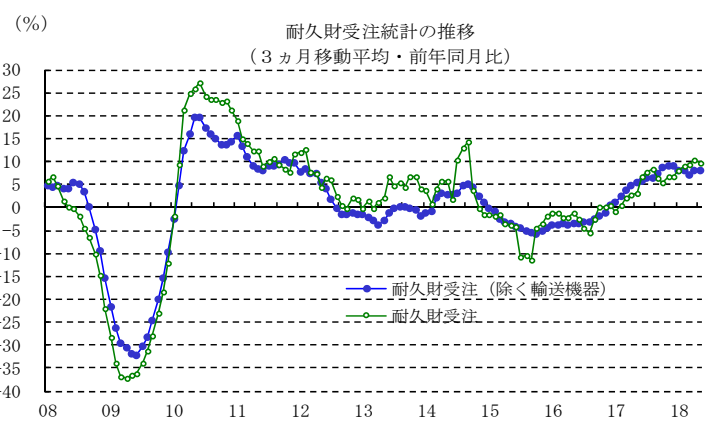
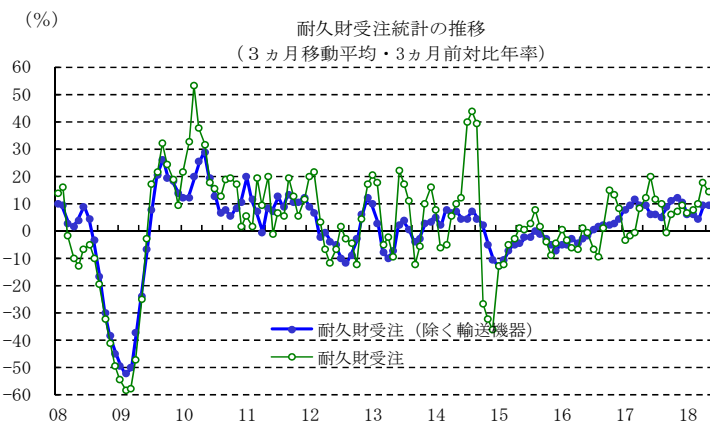
3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では、5月の耐久財受注は+14.0%（前月+17.3%）と高い伸びを維持した。また、基調を示す輸送機器を除く耐久財受注は+9.2%（前月+9.0%）と加速したように、耐久財受注は勢いを強めている。貿易戦争が本格化する前の状況であり、国内需要に加えて、海外需要の拡大を背景に、除く輸送機器は堅調さを維持している。

前年比では、1－5月期の耐久財受注は+9.9%（1－4月+9.4%）、輸送機器を除く耐久財受注が+8.2%（+7.9%）と堅調なペースで拡大。業種別で伸び率の高い順に、民間航空機が+52.3%（+51.1%）、商品市況の上昇により一次金属が+15.8%（+15.2%）、加工金属が+11.8%（+11.7%）、コンピューター・電子製品関連が+7.4%（+6.5%）、一般機械が+6.6%（+6.6%）、自動車・同部品が+5.6%（+6.9%）、電気機械・同部品が+5.0%（+4.9%）と続いた。一方、軍用航空機は▲18.7%（▲28.1%）と減少した。

5月の非国防資本財出荷が前月比▲0.1%、受注が▲0.2%と減少に転じた

設備投資関連では、機械設備投資の一致指標である非国防資本財出荷（除く航空機）が5月に前月比▲0.1%（前月同+1.0%）と市場予想の同+0.3%に反して減少した（3、4月合計+0.2%p 上方改定）。3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で+1.9%（前月+3.5%）と鈍化していることから、機械設備投資拡大の勢いは弱まっていると判断される。ただし、4、5月では1－3月期比年率+3.2%（1－3月期前期比年率+2.9%）と、4－6月期の機械設備投資の拡大ペース維持を示している。

機械設備投資の先行指標である非国防資本財受注（除く航空機）は、5月に前月比▲0.2%（前月同+2.3%）と市場予想の同+0.5%に反し減少したものの、3、4月で1.3%p 上方改定されており、実態は市場想定よりも強い。また、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で+4.6%（前月+7.6%）と鈍化したが高、高い伸びを保っており堅調な拡大モメンタムを維持している。さらに、4、5月では、1－3月期比年率で+8.4%（1－3月期前期比年率+1.5%）と大幅に加速した。経営者マインドの改善や企業業績の拡大が続いていることから、18年後半も機械設備投資は拡大を続けると予想される。



(出所) 米商務省データより作成

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。